

PEARLSデブリーフィングツール

	目的	行うべき事	ファシリテーターのフレーズ例
1 環境整備	安全な学習環境を提供する	デブリーフィングの目的と基本的想定を周知する*	『これからX分程度デブリーフィングをしましょう。目的は患者さんのケアについて協力して改善していくことです。』 『皆さんは高い意識を持ち、更にレベルアップするために参加されている前提でお話していきます。』
2 感想	感じたことを探索する	第一印象と感じたことを述べてもらう	『最初はどう思いました?』 『どんな気持ちになりましたか?』
3 事実確認	事実を明確にする	その症例の共通の理解を構築する	『どんな症例だったか、簡単にまとめていただけますか?』 『とりあえずの診断は何ですか?皆さん同意されますか?』
4 分析	さまざまなパフォーマンス領域(裏面参照)に関して探索する	詳細は裏面の表参照	予告 (新しい話題の導入に使用) 『ここで、【理由】なので、今からしばらく【話題】にしてみんなで話したいと思います。』 ミニサマリー (あるトピックの議論の要約に使用) 『素晴らしい議論でしたね。【パフォーマンスギャップ】に関して、更にコメントはありますか?』
他に気になった点や、聞いておきたい事はありますか?			
5 応用/要約	学んだポイントを同定する	学習者目線で ----- 指導者目線で	『今回の議論から、臨床に活かせる点はどのようなものがありましたか?』 『今回の議論での鍵となる学習ポイントは【学習ポイント】でした。』

* コピーライト: ポストン・メディカルシミュレーションセンターの許可を得て使用

Academic Medicine から許可を得て複製. 原著: Bajaj K, Meguerdichian M, Thoma B, Huang S, Eppich W, Cheng A. The PEARLS Healthcare Debriefing Tool. Acad Med. 2017. [Post Author Corrections]. <http://journals.lww.com/academicmedicine/toc/publishahead>.

分析段階

パフォーマンス領域

分析段階では以下の様々なパフォーマンス領域を詳しく調べられる：



意思決定



テクニカル
スキル



コミュニケーション



資源有効活用



リーダーシップ



状況認識



チームワーク

分析の進め方

- 1 学習者による自己評価**
学習者に自らのパフォーマンスを評価してもらい、内省による分析を促す
- 2 焦点を絞ったファシリテーション**
パフォーマンスの重要な点について掘り下げる
- 3 情報提供**
分析を進めるために明らかに不足している知識や情報があれば、その都度フィードバックし教える

フレーズ例

- 上手く行った点は？勝因は何でしょうか？
- もう一回やり直せるなら、何を变えますか？それはなぜですか？
- 自分の意見・見解**：私は【観察したこと】に見えました。私は【意見】と思いました。
- 質問**：そちらの視点からはどうでしたか？その時、どのように捉えていましたか？
- 【行動】に気づきました。次にするときには、【理由】なので、【行動の提案】をしてみてください。